

BASEL



- 発行責任者:横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
- 編集責任者:広報担当理事
- 連絡先 :〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
[事務局] 横浜ラポール スポーツ課内

Fax 045(475)2053

<http://basel-y.sakura.ne.jp>



JBMAユニファイドラン大会

会長挨拶

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
会長 岩澤 英喜

明けましておめでとうございます。

会員の皆さんにおかれましては、健やかな新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症予防対策の影響で「オリンピック・パラリンピック東京大会」の延期をはじめ、その他の主な大会も中止・延期となりました。会員の皆さまも自宅待機や活動自粛など、制約の多い年だったことと思います。今年も新型コロナウイルス感染症との戦いは続きます。その中で開催されたならば「オリンピック・パラリンピック東京大会」は、今までとは違う新しいオリンピック・パラリンピックの形を世界に示すことになるでしょう。

それは、私たちの身近な活動の積み重ねの成果でもあります。新型コロナウイルス感染症予防対策の整った活動をしていくためには、会員の皆さんと知恵を出し合い、試行錯誤を繰り返していく必要があります。そのためのひとつの手段として、インターネットなどの整備を進めております。また、これらを利用して幅広く皆さんにご意見をお聞きしながら、新型コロナウイルスの環境下でも障がい者スポーツをより発展させる道を共に歩んでいきたいと望んでおります。どうか皆さんのご協力をお願いいたします。



令和2年度障がい者スポーツ関東ブロック連絡協議会 報告

会長 岩澤 英喜

オンライン会議で行われた関東ブロック連絡協議会に参加しました。

参加者：田川監事、岩澤

場 所：横浜ラポール スタッフ会議室

各ブロック連絡協議会が中止となる中、関東ブロック連絡協議会初の試みとして、オンライン形式で以下の次第に沿って行われました。

次 第

【日 時】 令和2年11月2日(月) 13時30分～15時30分

【実施形態】 オンライン会議

【参 加 者】 関東ブロック各県障がい者スポーツ行政担当者、障がい者スポーツ協会担当者、障がい者スポーツ指導者協議会担当者、スポーツ庁健康スポーツ課 障害者スポーツ振興室、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 スポーツ推進部

【挨 拶】 「主催挨拶」 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 スポーツ推進部長 関口 一道

【第一部】 <情報提供> (30分) 13:35～14:05

1. 「スポーツ庁における障害者スポーツ政策について」 (10分)

スポーツ庁健康スポーツ課 障害者スポーツ振興室長 助川 隆

2. 「地域における障がい者振興事業の取組みからみえた成果・課題」 (20分)

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 技術委員会 推進部会長 太田 澄人

【第二部】 <情報交換> (75分) 14:05～15:20

「関東ブロックにおける障がい者スポーツに関する意見交換」

進行：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 スポーツ推進課長 滝澤 幸孝

◆討議の構成

1. 新型コロナウイルス感染症における障がい者スポーツ振興の現状・課題・対策について

2. ブロックによる意見交換(課題はアンケートにより決定)

【その他】 <報告等> (10分) 15:20～15:30

1. 報告事項(情報共有含む)

2. 次回の開催について

3. 閉会の挨拶 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 スポーツ推進部次長 三上 真二

情報交換で、各都県市とも大会やイベントが中止になっていること、コロナ対策をどのように進めていけばよいのか模索していることがわかりました。

その中で注目すべき報告がいくつかありましたので記します。

① 千葉市が「パラスポーツフェスタ」を事前予約制の300名定員で実施する。

② 川崎市がユーチューブを活用して、「家でできる障がい者スポーツ(ポッチャなど)」を配信する準備を進めている。

③ 埼玉や千葉が県のガイドラインを基本に、独自の新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインの作成を進めている。千葉県は競技ごとに作成する。

初のオンライン会議でしたが、途中音声や画像が途切れたりした以外は違和感なく参加できました。資料が画面に映し出されて、説明していく形式はペーパーレス化には良いのですが、字が小さいのが気になりました。来年度の連絡会は埼玉県で従来の形式で実施する予定と発表がありました。

関東ブロック障がい者スポーツ協議会 令和2年度第2回幹事会

参加報告

理事 平山 和幸

2020年10月17日(土)、コロナ禍を受けてWeb方式により10の都・県・市の各スポーツ協会・協議会の会長や副会長および本部(研修部、情報部、指導部、顧問)メンバー合わせて17名にて開催された。初めてのWeb会議ということもあり、音声・画像通信の疎通確認から始め、参加者の自己紹介、各都・県・市指導者協議会の活動状況報告、および本部(研修部・指導部等)からの情報連絡という内容で、私は会長代理として会議参加をした。

コロナ禍の中、各都・県・市指導者協議会での活動は、多くが中止になった報告がなされ、当協議会(BASEL)からは、2月に『もう1つの茨城大会』と称し、昨年台風延期になった、全国障害者スポーツ大会(以降、全スポと称す)のリベンジ版として神奈川県、相模原市、川崎市の各所属選手を交え独自開催したこと、協議会機関誌を8月に定期発刊したこと、初級指導者養成講習会を中止決定したこと等を報告した。本部からは、延期になった全スポ鹿児島大会は三重大会・栃木大会の後に特別大会として計画されたこと等が報告され、次回は2021年3月の開催予定を確認し、閉会した。

会員の活動・体験コーナー

【11月3日(祝・水)「J-STARプロジェクト(※)」第2ステージ(パラリンピック測定会) 於;横浜ラポール】
会員 長坂 和美

神奈川県障がい者スポーツ指導員協議会・理学療法士会の方々と一緒に測定会のサポートに臨みました。コロナ禍であるため、事前体調チェックシートの提出、受付にて手指消毒、体温測定、介助者の人数制限などの対策の中、午前と午後の2部に分かれて合計27名の方が参加されました。

私は、受付、反応時間、立ち幅跳びの担当。障がいによって測定ができない種目もありましたが、参加された方々の力が発揮され未来のトップアスリートとして活躍する場面を想像すると共に、有意義な一日を過ごさせて頂き感謝いたします。



(※)「J-STARプロジェクト」： ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト

多くの子供達や障がい児・者が自分の可能性に挑戦する機会を提供します。

対象年齢は、満11歳以上。ライジングスター(希望の星)が日本全国から発掘・育成され、世界で活躍することを目指すプロジェクトです。

【11月8日(日)スポーツフェスタ「フライングディスクの日」 於;横浜ラポール】 会員 久岡 雄一

久々のバセルのボランティアがフライングディスクの体験会でした。当日は快晴で、とても過ごしやすい中での活動となりました。

体験会は、的当て、アキュラシー(輪通し)、ディスタンス(距離計測)の3つで行われました。コロナ禍ということでもあり、午前中の4時間だけの活動となりましたが、参加者の方々は、家族で参加される方も数多く



いらして、とてもアットホームな雰囲気の中で活動しました。参加者の方々も、私達ボランティアも、久々に外でスポーツに触れることが出来て楽しい時間だったと思います。

消毒の関係で後片付けをすることもなく、帰らせていただきました。数少ないイベントでラポールでは、半年ぶりとお聞きしました。色々なことが縮小されていく中ですが、少しでも活動の場が増えていくことを願っています。また、今回活動された皆様ありがとうございました。楽しい半日を共有できたことをうれしく思います。今後ともよろしくお願ひします。

【11月14日(土)インクルーシブスポーツフェスタ2020 於;三ツ沢公園補助陸上競技場】

会員 平山 和幸

台風や新型コロナ感染拡大の影響により多くのイベントが中止になる中、2020年11月14日(土)秋晴れのもと”インクルーシブスポーツフェスタ 2020”が三ツ沢公園補助陸上競技場で開催され、当協議会 2名、横浜ラポール指導員 3名で車いすレーサー体験コーナー(ローラー台使用)を担当しました。全参加者に、新型コロナ感染対策(体温計測・マスク・手袋・アルコール消毒)を徹底してもらい、来場者約 200名・車いすレーサー体験者約 90名の盛況で終えた。”ラポールの祭典”など屋内での体験と違い、陸上競技場でその雰囲気を楽しく体験して頂けた。オリ・パラブームに乗りこ近年、「インクルーシブスポーツ」に脚光が当てられていて、ポッチャもその一つで、多くの会社・学校での体験シーンを見るようになりました。年齢、性別、国籍、障がいのある・なしにかかわらず、共に楽しめるスポーツの普及、振興にこれからも携わっていきたいと思います。

当日は、フライングディスク体験コーナーで当協議会の会員さんも、かながわ障がい者フライングディスク協会として担当参加されていました。



【11月21日(土)グリーントライアスロン横浜SDGs 於;山下公園】

会員 小林 智行

今回初めて Green Triathlon 横浜 SDGsに参加させていただきました。このイベントの中では、T シャツからランニングマスクを作るワークショップやモルック体験、トライアスロン選手のトークセッションなどが行われました。今回は、その中で横浜ラポールのブースで、パラトライアスロンで使われる「ハンドサイクル」や「競技用車いす」の体験のサポートをさせていただき、最初に私も実



際に乗車させていただきました。

ハンドサイクルは普段の視線よりもかなり下がっているの、少し怖く感じました。競技用車いすは、常に前傾姿勢を取っていないと、バランスを崩して倒れてしまうので、意識するだけでもとても大変でした。2 つとも手を使って前進するものなので、パラトライアスロンの選手は、腕をかなり使うのだと、改めて実感することができました。この乗車体験に来られた参加者の方々も、このようなもので競技をしているということに、驚かれる方が多かったですが、少しでも多くの方にパラトライアスロンのことを知ってもらう機会になったのではないかと思います。

【12月13日(日)第38回JBMAユニファイドラン大会 於;日産スタジアム】

会員 田中 一美



自分にできることがあればいいな、人の役に立てたらいいなと思ってブラインドマラソンのボランティアに参加しました。現在、左片麻痺で電動車椅子生活をして5年。初めて参加するので心配なことを問い合わせたところ、皆さんが安全にできるようサポートして参加できるので大丈夫ですと言われ、「ああ私でもできるのだ」と思い当日を迎えました。

リーダーが「参加される方が笑顔になってくれること！」と言われたので、いい場所に来たと思いました。

担当は、誘導・案内係で車椅子と一緒にいました。日産スタジアムのそばの交差点で、参加者と伴走者の方がレースを楽しみにしている姿を見送りました。通り過ぎていく姿が明るい雰囲気に含まれていました。声かけは少しだけでしたが障がいがあっても参加できたこと、広い視野をもって人に関われたことをうれしく思います。参加者の笑顔と「ありがとうございました。」の一言に心が温かくなりました。自分にできることを見つけ、また参加したいです。

こんな活動をしました

【ポッチャ体験】

広報

人権週間の一環として、11～12月に青葉区、戸塚区の小学校でポッチャの体験会が行われました。

新型コロナウイルス感染防止のため、1 回ごとの人数制限、ソーシャルディスタンス確保、消毒等徹底しながらの体験会でした。

学校ごとに対象学年も異なりましたが、皆さんに楽しんでいただけました。

ポッチャは、パラリンピックでも日本がメダルを期待されている種目であり、年齢や障害の有無にかかわらず、何時でも何処でも皆が楽しめるスポーツであることを紹介しました。

特にランプという補助具には大いに興味を持ってもらえた様子。

写真のような簡易コートを手作りして、準備時間を短縮することもできました。

2020 パラ大会では沢山の方にポッチャの応援をしていただけることを期待しています。



お知らせコーナー

今年度はコロナ対策の影響で、前期、後期ともに研修会を開催できませんでした。
当協議会研修担当が作成した「2020年初級・中級指導教本」カリキュラム変更点などの補足資料を同封しましたのでご覧ください。

【 ボランティア募集 】

2021年度ボランティア募集、スポーツカレンダーを同封しました。前期の締め切りは、2月28日(日)です。多くの皆様の参加をお待ちしています。

【 総会のお知らせ 】

2021年度の総会を5月22日(土)に横浜ラポール 2 階ラポールボックスで開催する予定です。
詳細は後日改めてお知らせします。
なお、前期の研修会については、参集する形では開催いたしません。

【 役員改選のお知らせ 】

昨年度、書面表決で皆様の承認を得て、現役員任期を1年延期し2021年総会までとしました。
当協議会役員規定により、役員改選を行います。
詳細は同封の要項をご覧ください。

【 フライングディスク研修会 】

2月14日(日)、かながわ障がい者フライングディスク協会主催の研修会が横浜ラポールで開催されます。
応募などの詳細はバセルのホームページをご覧ください。

【 メールアドレス登録の件 】

会員の皆様に地域から寄せられるボランティアの依頼、情報などをメールで配信しています。
情報配信を希望される方は QR コードを携帯、スマートフォンなどで読み取るか、下記のアドレスよりお名前、会員番号を入力し、返信してください。

※既に登録済の方は、登録の必要はありません。

ホームページ(<http://basel-y.sakura.ne.jp>)

Mail(basel@basel-y.sakura.ne.jp)



ホームページ

【会員数 2021年1月現在 488名】